

PRESENCE'S NEWS LETTER

自慢できる家造り

2022年7月号
Vol.73

PRESENCE.

変形地でも好立地

プレゼンスでは、資産性も
維持しやすい好立地をおすすめしています。

しかし! 好立地の土地は価格も高く、建物まで予算が出来ないのが現実です。なので、好立地の変形地をおススメ! 変形地は不動産会社やハウスメーカー、工務店などがあり好まない土地なんです。それは、売りにくいとか家のプランが難しいなどという理由で比較的安価で取引されています。だから、好立地にもかかわらず、予算内で家を造る事が可能になるので、プレゼンスが資産価値の下がらない家造りをご提供できるのです。

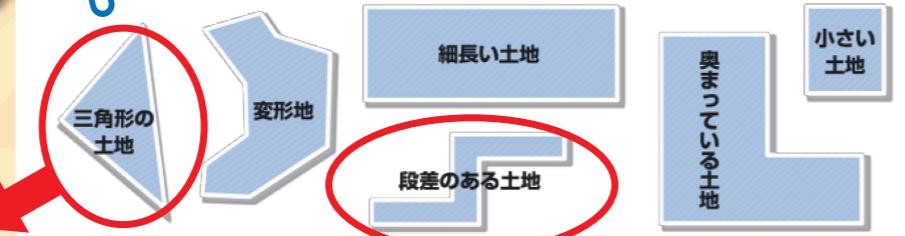


好立地の
変形地が
おススメ!



三角形の土地

例えば、これらのようないちじく…



エッ!何これ?
こんな場所に
家が建つの?



段差のある土地

※写真では分かりづらいですが
敷地内で80cmの段差があります。



※完成予想バース



(安芸郡府中町八幡)
2022年7月完成

※完成予想バース



(広島市中区吉島西)
2022年8月完成予定

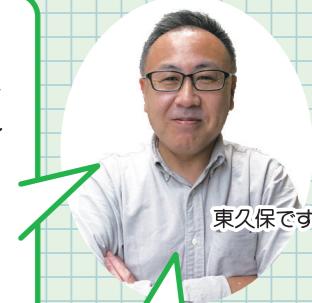
見学ご希望の方は、右記までお気軽にお問合せください。▶▶▶

建築うんちく

いの一番

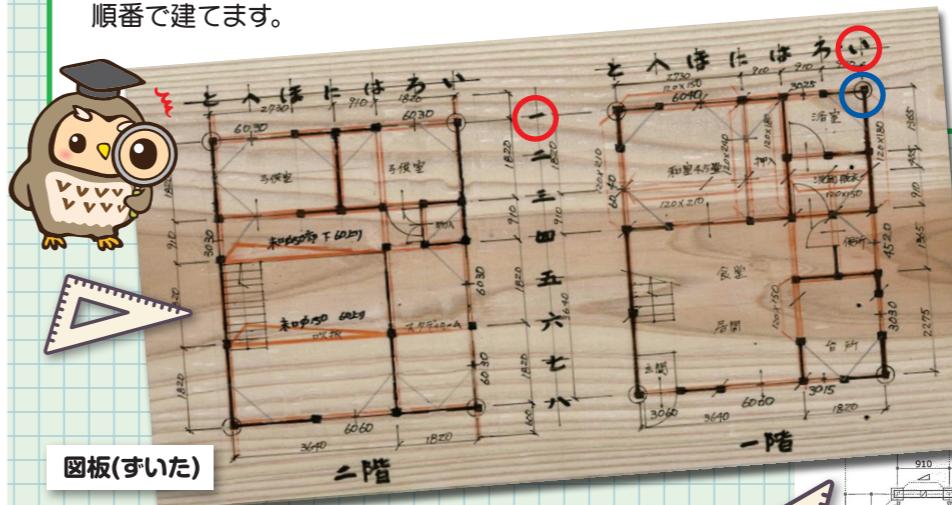


「いの一番」って聞いて、調味料の「いの一番」を思い浮かべる方もいらっしゃると思いますが、本来「いの一番」の意味は、『真っ先に』とか、『一番最初に』といった時に使う言葉ですよね。この言葉には諸説ありますが、実は建築業界の言葉だったという説もあるんですよ。



東久保です

家を建てる際、大工さんは図板(すいた)に書いた平面図に柱の位置を書き入れ、その柱割りを見ながら材木を加工したのですが、そのとき横方向に「い・ろ・は...」縦方向に「一・二・三...」と番号を打ち、一本一本の柱に印をつけました。大工さんはその柱の位置を確認しながらそれぞれの材木を加工し、図面通りに組み上げます。そのとき一番最初に建てるのが「いの一番」の柱だったことからこの言葉が生まれたというわけです。現在は特に決まりがなく、組立やすい順番で建てます。

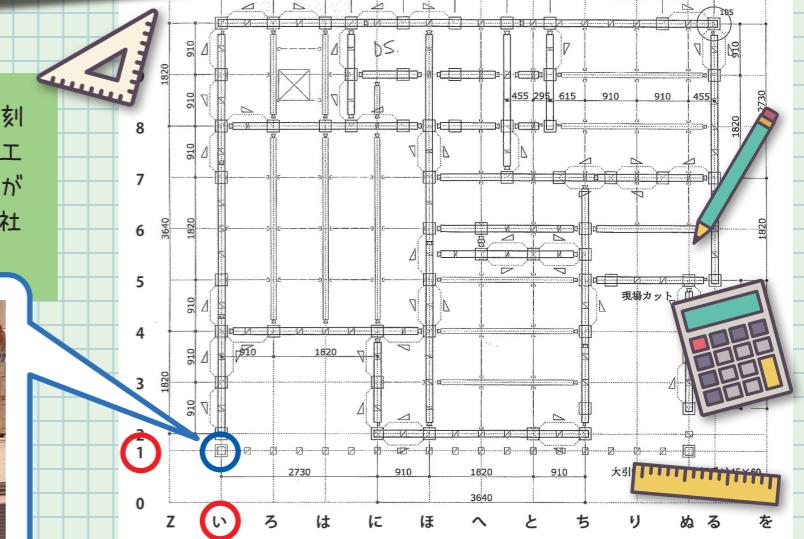


図板(すいた)

1990年頃までは大工さんは図板に図面を描き手で木材を刻んでいました。近年はプレカット技術(工場加工)により工期の短縮や建物の精度が均一となりより良い住宅供給ができるようになりました。2000年頃にはほとんどの建築会社はプレカットに移行しています。



※プレカットとは
図面を基にコンピューターで木材を
機械加工するシステムのことです。



[広島市中区吉島西] プレカット図

—住まいとデザインの融合—
Uniting of residence and design

P R E S E N C E

ZEH
builder
ZEH29B-00095-CTR

株式会社プレゼンス

〒733-0034 広島市西区南観音町12-32 1階

0120-219-117

info@presence-net.jp
<https://presence-net.jp/>

